



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：カンディール内閣改造

1月6日、カンディール首相は10名の閣僚更迭を発表した。同日、新閣僚らはムルスィー大統領の前で宣誓し、第2次カンディール内閣が発足した。ムルスィー政権の最大の課題は、IMFと48億ドルの借款協定について合意し、失業、貧困、外貨準備高不足という経済問題に早急に対処することである。今回の内閣改造は、こうした問題を視野に入れての決定と見られる。

新閣僚10名は以下の通り。(人名後ろのMBは、ムスリム同胞団メンバーを示す)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 財務相 | ムルスィー・サイイド・ヘガーズィ |
| 2. 内務相 | ムハンマド・イブラヒーム |
| 3. 運輸相 | ハーティム・アブデルラティーフ (MB) |
| 4. 供給・国内貿易相 | バーシム・オウダ (MB) |
| 5. 地方開発相 | ムハンマド・アリー・ビシュル (MB) |
| 6. 電気相 | アフマド・イマーム |
| 7. 通信・情報技術相 | アーティフ・ヘルミー |
| 8. 法律・議会問題担当相 | オマル・サーレム |
| 9. 民間航空相 | ワーイル・マアダーウィ |
| 10. 環境問題担当相 | ハーリド・ファハミー・アブデルアール |

【新閣僚の特徴】

第1次カンディール内閣と同様、学者や実務家などテクノクラートが多い(財務相、運輸相、地方開発相、電気相、通信・情報技術相、民間航空相、環境相)。喫緊の課題であるIMF借款協定に取り組む予定の新財務相ムルスィー・サイイド・ヘガーズィは、イスラーム金融を専門とし、自由主義経済を支持するアレキサンドリア大学教授だが、政治経験はない。今後、ヘガーズィ新財務相を迎え入れたカンディール内閣およびムルスィー政権が、IMF借款協定で合意を取り付け、経済回復を実現できるかどうか注目される。

(金谷研究員)